

件 名 増え続ける子どもの自殺、不登校、いじめを改善する為にも教員未配置をなくすことを求めることについて

要 旨

厚生労働省は 2025 年度の小中高生の自殺者が 532 人で最多となったと公表し、文部科学省は 2024 年度の小中学校の不登校が 35 万人を超えたと発表した。法律で決められた配置されるべき担任の先生さえ未配置で、子どもたちはいじめ、不登校など困りごとがある時だれに相談したらよいのだろう。

茨城県は 2026 年度から 1,700 人の臨時的任用教員を正規教員に置き換えていくことを制度化した。千葉県も未配置をなくす為の実効ある計画を策定し年数を定め着実に未配置解消を進めるべきである。

千葉県では 2024 年度産育休の先読み加配（国の制度）さえ、対象者は 144 人であったが実際には 94 人しか配置されなかった。原因は、千葉県の非常勤講師の待遇が、東京都、埼玉県、神奈川県に比べ悪いからである。千葉県の非常勤講師は時給換算 1,843 円で昇給はない。東京都では一年目でも 2,030 円、17 年経つと 3,630 円になる。埼玉県は 2,581 円から 3,097 円、神奈川県は 2,530 円から 2,705 円である。

以上の趣旨から、次項について措置願いたい。

1. 未配置を解消するための 5 年計画を策定すること。
2. 文部科学省の「産育休先読み加配」を確実に活用し、産育休の未配置をなくすこと。
3. 小学校及び中学 1 年生で 35 人を超える学級編制を行わないこと。
4. 非常勤講師の待遇を、東京都、埼玉県、神奈川県並みに改善すること。
5. 臨時的任用経験者には、その経験や実績を公正に評価し、5 年間連続任用している場合には正規で雇用すること。
6. 県費採用枠で年度初めから教員を確保し、定員内未配置をなくすこと。
7. その学校の児童生徒の実態に合わせた学校独自の楽しい取り組みを保障し、千葉県の教職を魅力ある仕事にすること。